



保証とアフターサービス

(必ずお読みください)

保証について

- この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。なお、食品の補償等、製品修理以外の責はご容赦ください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
ただし、冷凍サイクル・冷却器用ファンおよびファンモーターは5年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の希望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

アフターサービス でお困りの場合は

お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

転居されるときは

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合は、(前もって販売店にご相談ください。ご転居先での、日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

補修用性能部品の 保有期間について

- 冷凍庫の補修用性能部品(特定フロンを含む)の最低保有期間は、製造打切後9年間です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



●長年ご使用の冷凍庫の点検を!

こんな現象は
ありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷や変形がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- 冷凍庫床面にいつも水が溜まっている。
- ビリビリと電気を感ずる。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店に、点検・修理をご相談ください。費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

お客様 メモ

購入年月日・購入店名
を記入しておいてくだ
さい。サービスを依頼
されるときに便利です。

形 名

購入店名

電話 ()

購入年月日

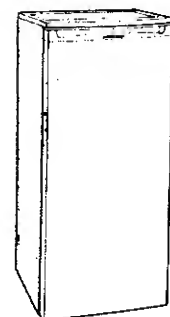
年 月 日

株式会社 日立製作所

〒105 東京都港区西新橋2-15-12 電話(03)3502-2111

取扱説明書

日立冷凍庫 業務用



形 名

RF-U12FK1形



96特定フロン
規制対応冷凍庫



この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。
取扱説明書は保証書・ご相談窓口一覧表と共に大切に保存してくだ
さい。

も く じ

安全上のご注意 (必ずお守りください)	2
据え付けるときは	6
使いはじめ	7
温度調節	7
各部の名称と働き	8
お手入れのしかた	9
故障かな?と思ったら	10
こんなときには…	10
仕様/ 消費電力量について	11
保証と アフターサービス	12



安全上のご注意

(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

△警告と△注意の意味は次の通りです。

△警告	取扱いを誤った場合、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
△注意	取扱いを誤った場合、傷害または家屋・家具などの物的損害に結び付く可能性があるもの。

●本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

	「必ずしてほしい行為」を表わします。
	電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
	必ずアース線を接続してください。
	「禁止」を表わします。
	分解しないでください。
	触れないでください。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保存してください。

警告

- 定格15A以上のコンセントを単独で使用する他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して火災の原因になります。



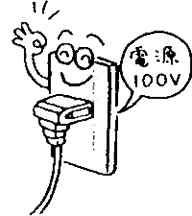
単独で使用する



- 電源は100V専用コンセントを使用する100V以外では、感電・発火の原因になります。



100V専用コンセントを使用する

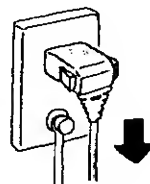


- 電源プラグはコードが下向きになるように差し込む

逆に差し込むと、コードに無理がかかり、感電・ショート・発火の原因になります。



コードを下向きにする



- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふき取る
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。



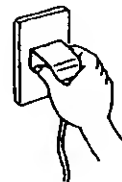
清潔にする



- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く またぬれた手で抜き差ししない感電することがあります。



電源プラグを抜く

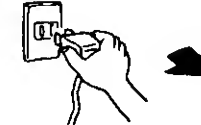


警告

- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
コードを持って抜くと、感電・ショート・発火の原因になります。



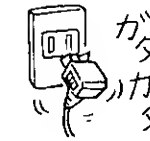
電源プラグを持つ



- 電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。



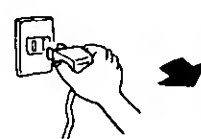
禁止



- 長時間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になります。



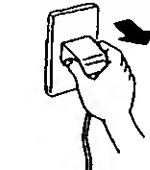
電源プラグを抜く



- 異常時(こげ臭いなど)は電源プラグを抜き運転を中止する
異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。



電源プラグを抜く



- 電源プラグを冷凍庫の背面で押し付けない
電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。



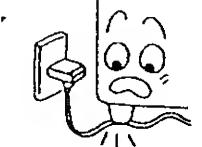
禁止



- 電源コードを冷凍庫の脚や家具などで踏まない
感電・火災の原因になります。



禁止



- 電源コードを傷付けたり破損したり加工したり無理に曲げたり引張ったりねじったりたばねたりしない
感電・ショート・発火の原因になります。



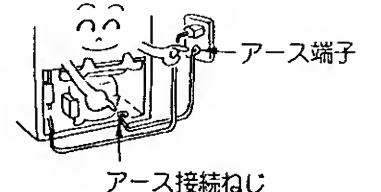
禁止



- アースを確実に取り付ける
アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。
(詳しくは6ページ)



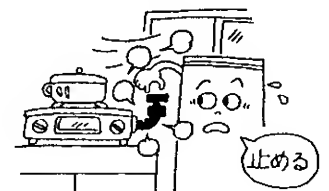
アース線接続



- ガス漏れに気がいたら冷凍庫やコンセントに触れずにガスの元栓を閉めて換気する
引火爆発し、火災ややけどの原因になります。



換気をする



- 可燃性スプレーを近くで使わない
引火する危険があります。



禁止





安全上のご注意(つづき)

(必ずお守りください)

警告

- 引火しやすいものは入れない
爆発する危険があります。



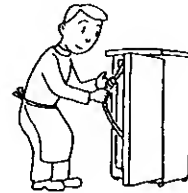
禁止



- 冷凍庫を廃棄処分するときは ドアパッキングを
はずす また 幼児が遊ぶ場所に放置しない
幼児が閉じ込められると危険です。



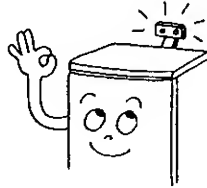
パッキングをはずす



- 地震などによる冷凍庫の転倒防止の処理をする
震動により冷凍庫が転倒し、けがの原因になり
ます。(詳しくは6ページ)



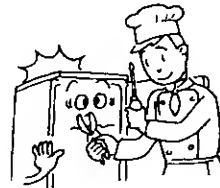
転倒防止をする



- 分解・修理・改造は絶対にしない
感電・火災・けがなどの原因になります。
分解・修理が必要なときは、販売店にご相談く
ださい。



分解禁止



- 上に水を入れた容器を置かない
こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり感電・
火災の原因になります。



禁止



- ドアにぶらさがったり よりかかったりしない
冷凍庫が倒れたり、ドアがはずれたり、手をは
さんだりしてけがをすることがあります。



禁止



- 上に重量物を置かない
ドアの開閉で落下し、けがをすることがあります。



禁止



- 医薬品や学術資料は入れない
温度管理の厳しいものは保存できません。



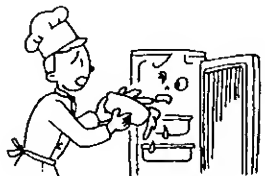
禁止



- 水をかけない
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因
になります。



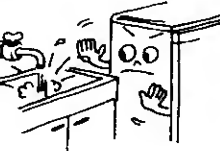
禁止



- 湿気の多いところや水がかかるところに据え付け
ない
絶縁劣化による感電・漏電・発火の原因になり
ます。



禁止

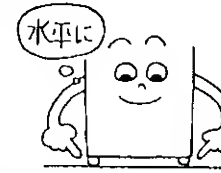


注意

- 床が丈夫で水平なところに据え付ける
不安定な所に据え付けますと、ドアの開閉など
で冷凍庫が倒れ、けがの原因になります。
(詳しくは6ページ)



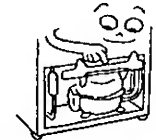
水平に据え付ける



- 据え付け時や お手入れをした後に 蒸発皿が正
しく取り付けられているかを確認する
正しく取り付けられていないと、除霜水が漏れ、
床や壁などを傷める原因になります。



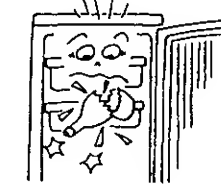
蒸発皿を確認する



- 庫内にガラス製のビン類を入れない
中身が凍って割れ、けがの原因になります。



禁止



- ケースに水を入れて製氷しない
ケースが割れることがあり、けがなどの原因に
なります。



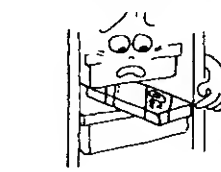
禁止



- 食品をケースより前に出さない
食品をケースより前に出すと、ドアが閉まらな
かったり、食品の落下でけがなどの原因になり
ます。



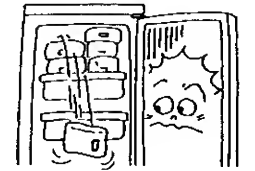
禁止



- ケースをはずして使わない
食品の詰め過ぎによる落下、けがなどの原因に
なります。



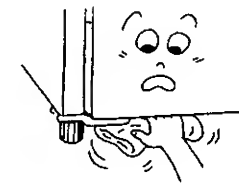
禁止



- 冷凍庫の底面に手を入れない
冷凍庫の底面には鉄板があり、けがの原因にな
ります。



接触禁止



- 冷凍庫背面の機械部に手を入れたり 圧縮機に触れ
ない
高温ですので、やけどやけがなどの原因になり
ます。



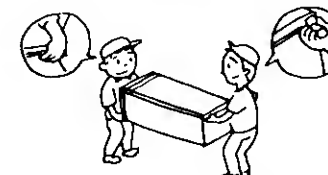
接触禁止



- 冷凍庫を運搬するときは 前脚部とテーブル後部を
持つ
他の部分を持つと、手がすべってけがの原因に
なります。



運搬用取っ手を持つ



- 異臭がしたり変色した食品は食べない
腐敗により、病気の原因になることがあります。



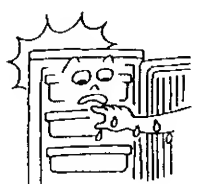
禁止



- 冷凍室内の食品や容器(特に金属性のもの)には ぬれた手で触れない
凍傷の原因になります。



接触禁止

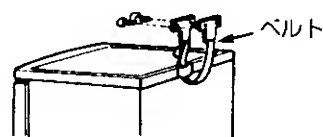




据え付けるときは

万一の地震にそなえて

- テーブル背面の中央に冷凍庫用転倒防止ベルトを掛け、先端を丈夫な壁や柱に固定してください。



別売品：部品番号R-826CV-300
標準価格 870円(税別)×1個使用
(平成9年2月現在)

周囲にすき間を

- 図のようにすき間をとってください。すき間をあけまないと、放熱が悪くなり、電気代が増えたり壁材が変色したり汚れたりします。
- 蒸発皿が壁に触れますと、振動音が発生することがありますので、壁から離してください。

警告

- 電源プラグを冷凍庫の背面で押し付けない
電源プラグが傷付き、過熱・火災の原因になります。

熱気・湿気の少ないところに

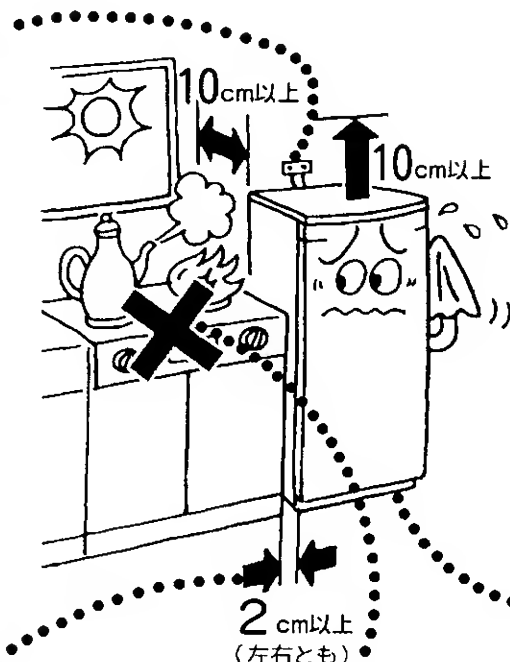
- 直射日光やガスレンジなどの熱影響を受けまると、冷却力が悪くなったりします。
- 湿気や水がかかったりしますと、絶縁が悪くなったり、さびたりします。

漏電しゃ断器について

水気の多いところ(魚店・豆腐店など常時床面に水気があるところ)に据え付ける場合は、アースのほかに漏電しゃ断器を設置することが義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

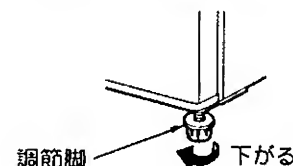
警告

- アースを確実に取り付ける
アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。



床が丈夫で水平なところに

- 調節脚を矢印の方向に回して床に着け、安定させます。不安定な据え付けは、騒音や振動の原因になります。
- じゅうたん・畳などの場合は、下側全面にしっかりと板を敷いてください。冷凍庫の底の熱による床の変色も防げます。



注意

- 床が丈夫で水平なところに据え付ける
不安定なところに据え付けますと、ドアの開閉などで冷凍庫が倒れ、けがの原因になります。

移動するとき

- 必ず電源プラグを抜いてください。
- 食品を取り出し、蒸発皿の水を捨ててください。
- 運搬するときは、前脚部とテーブル後部を持ってください。

転居などで運搬するとき

- 横積みしないでください。故障の原因になります。
- 50-60Hz(ヘルツ)共用です。

注意

- 冷凍庫を運搬するときは前脚部とテーブル後部を持つ。他の部分を持つと、手がすべってけがの原因になります。



感電防止のためにアースを

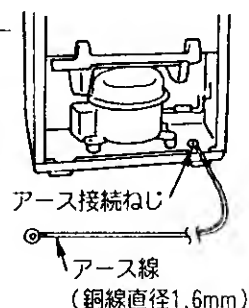
次のようなところに据え付ける場合は、お買い上げの販売店に依頼して、必ずアース工事をしてください。工事の費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

- 土間や洗いの床など、水気のあるところ
- 地下室など湿気のあるところ
- その他水気や湿気のあるところ

アース線の接続について

- アース線(付属していません)は背面下部にある(アース接続ねじ)に接続してください。
- 次のようなところに接続しないでください。

- 水道管
- ガス管(爆発・引火の危険)
- 電話線のアースや避雷針(落雷のとき危険)

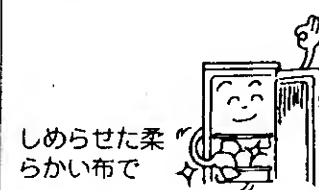


使いはじめ

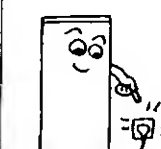
1 水平に据え付ける



2 庫内を清掃する



3 専用コンセントに接続する



電源100V

4 じゅうぶん冷えてから食品を入れる



●使いはじめは、背面が熱くなります。

上手な検食(検査用食品)の入れかた

1. 小分けして密封

原材料・調理済み食品を食品ごとに50g程度ずつ清潔なビニール袋などに小分けして、密封保存します。
(1ケースに50gの検食を約40個収納できます)



- 食品の種類や形によっても収納量が変わります。

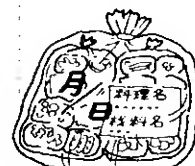
2. 1食分をまとめて

小分けした1食分の検食数個を大きめのビニール袋にひとまとめで整理します。

小分け品



1食分



- 霜取り時の一時的な温度上昇を少しでも抑える事ができます。

3. 調理品は冷ましてから

熱いものは、他の検食の温度を上げる原因にもなります。



4. 2週間分保存するには

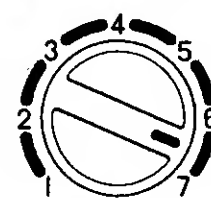
ケース1段に2日分の検食を保存することにより、2週間分の検食保存が可能です。



温度調節

必要に応じて、〈温度調節ダイヤル〉で温度を調節してください。
(〈温度調節ダイヤル〉は、最上段のケース背面にあります。)

ふだんは“6”と“7”の中間位置でお使いください。



温度調節

7	約-24~-25℃
6	約-21~-23℃
4	約-18~-20℃
1	約-15~-16℃

- 表の温度は周囲温度30℃、食品を入れずにドアを開け、安定したときの値です。
- 自動霜取り時は、一時的に温度が上がります。上り方は食品の量により変動します。

- 周囲の湿度が高いとき、外側やドアパッキング、扉に露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。
- 検食を入れないときは、設定温度を上げてお使いください。消費電力量を低減することができます。



自動霜取りについて

- 冷却器に付いた霜は自動的に溶けます。溶けた水は蒸発皿にたまり、自動的に蒸発します。



各部の名称と働き

テーブル

上にものが置けます。

温度調節

詳しくは7ページ。

ケース

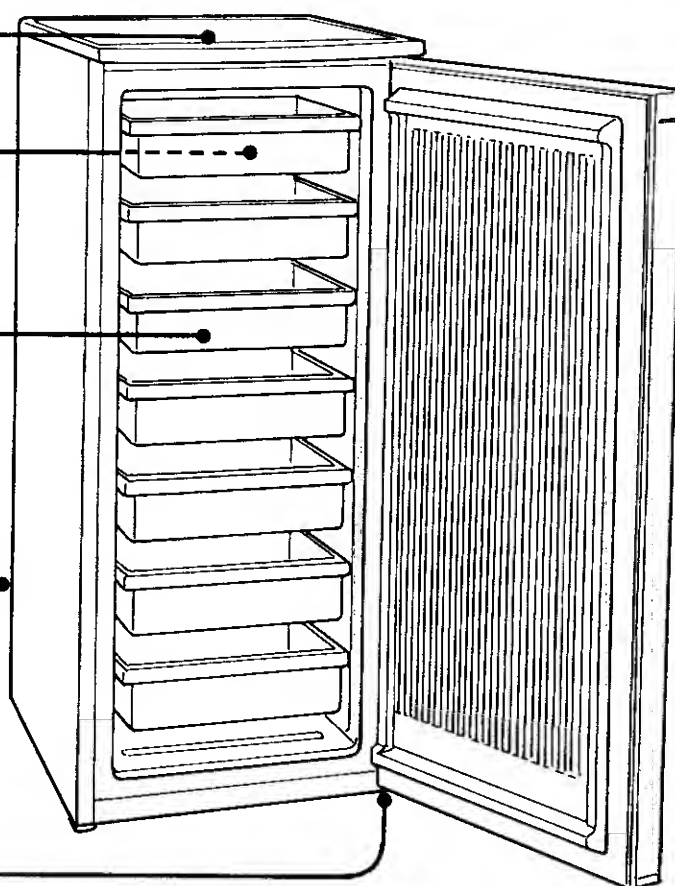
ケースは7段ありますので一段に2日分の検食を保存することにより、2週間分の検食保存が可能です。

蒸発皿

後部にあります。

調節脚

高さを調節します。詳しくは6ページ。



お願い

- 庫内にガラス製のビン類を入れないでください。中身が凍って割れることがあります。
- テーブル(耐熱温度60℃です)には熱くなる器具や重さ25kg以上のはのせないでください。変形や変色したりします。
- 周囲の湿度が高いとき、テーブルの上にジャーやレンジなどを置くと、露の付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。
- 市販の袋入り寒剤(硝酸、尿素を含む)は入れないでください。中身が漏れたり、白い粉が出るとさびの原因となります。
- ケースを取り出した後、庫内に戻すときは、奥に押し込み過ぎたり、他の位置に押し込んだりしないでください。他のケースの食品が冷えにくくなったり、ケースが落下したりする恐れがあります。
- ケースを引き出す際、途中で手をはなすと落下することがあります。しっかり持って出し入れしてください。

本機種は「'96特定フロン規制対応冷凍庫」です。



'96特定フロン
規制対応冷凍庫

冷凍庫の冷媒および断熱材の発泡剤に使用されてきたCFC(特定フロン)はオゾン層の破壊を引き起こすとされ、1995年で生産が全廃されました。かわってオゾン層破壊への影響がないHFCや影響が少ないHCFCなどに切り替えられています。なお、今後とも地球環境によりよい物質の研究開発等に努力してまいります。



お手入れのしかた

■月に1回は、お手入れを。

お手入れのポイント

部 品

取りはずせる部品は、水洗いできます。

ドアパッキング

汚れやすいところです。下側もよくふきます。パッキングが傷むのを防げます。

お手入れの方法

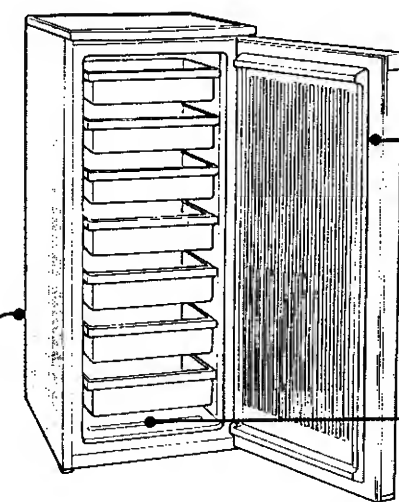
- 1 電源プラグを必ず抜きます。
- 2 布にぬるま湯か中性洗剤を含ませてふきます。
- 3 中性洗剤でふいた後は、水ぶきします。
- 4 お手入れ後、電源コードにきれつやすり傷がないことを確認します。
- 5 蒸発皿が正しく取り付けられていることを確認します。
- 6 電源プラグを、コンセントにしっかり差し込みます。

警告

- お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く また ぬれた手で抜き差ししない
感電することがあります。
- 電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふき取る
ほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたりコンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・火災の原因になります。
- 水をかけない
電気部品の絶縁が悪くなり、感電・火災の原因になります。

注意

- 冷凍庫の底面に手を入れない
冷蔵庫の底面には鉄板があり、けがの原因になります。
- 冷凍庫の背面の機械部に手を入れたり圧縮機にふれない
高温ですので、やけどやけがの原因になります。
- もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

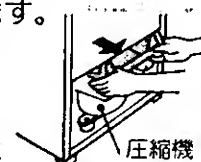


蒸発皿

はずして水洗いします。蒸発皿は図のように、引き出します。

汁受け

汚れや汁がたまったらふきとります。



お願い

- 電源プラグを抜き、次に差し込むときは5分以上間をおいてください。すぐに差し込むと機械に無理がかかります。
- お手入れの際、霜や水がケースから床に飛び散ることがあります。乾いた布でふき取ってからお手入れください。
- 食用油および、かんきつ類の皮に含まれる汁が付いた場合はふき取ってください。プラスチックが割れることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 次のようなものは使わないでください。
塗装面やプラスチックを傷めます。特にアルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤はプラスチックの表面を黄変させることもあります。
シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・弱アルカリ性洗剤・ワックス・熱湯・酸・たわしなど。





故障かな？と思ったら

次のことをお調べください

全く冷えないとき

- 電源プラグが抜けていませんか？
- ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- 停電ではありませんか？

よく冷えないとき

- 直射日光が当たったり、近くにガスレンジなどありませんか？
- 熱いものを入れたり、ドアをひんばんに開けていませんか？
- 食品を詰め過ぎていませんか？
- 周囲の風通しは良いですか？

床面や庫内に水がたまるとき

- 蒸発皿が正しく取り付けられていますか？
- ドアが食品などに当たって半開きになっていませんか？
ドアが半開きのままお使いになりますと、冷却器から溶けた水が、背面の蒸発皿からあふれることがあります。

庫内のおいが気になるとき

- 食品をビニール袋等で密封せずに保存していませんか？

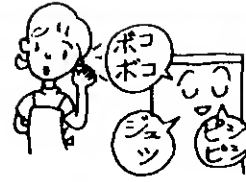
音がうるさいとき

- 床がしっかりしていますか？
- 据え付けが悪く、がたついていませんか？
- 背面が壁などに当たっていませんか？
- 蒸発皿が、はずれていませんか？

これは故障ではありません

水の流れるような音がする

これは冷凍機の中の冷媒から発生する音で、停止中も出ることがあります。ときどき、「カチッ」という温度調節装置や霜取タイマーの動作音がします。



ドアを開めた直後、すぐにドアを開けようとすると、ドアが重く感じる

庫内に入った空気が冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。1～2分お待ちください。

外側やテーブルに露が付く

周囲の湿度が高いとき、外側に露の付くことがあります。また、テーブルの上にジャーやレンジなどを置くとテーブルに露がつくことがあります。これはコップに冷たい水を注いだときにまわりに水滴がつくのと同じです。乾いた布でふき取ってください。

庫内に霜、氷が付く

ドアを長く開けておいたり、ドアの開閉回数が多いと水分が霜や氷となって一時的に庫内に付くことがあります。ドアを開けたときに霜や氷の溶けた水が、ケースからたれる場合があります。乾いた布でふき取ってください。

冷凍庫の前面や側面、背面が熱く感じる

露付防止パイプや放熱パイプを内蔵しているためです。使いはじめや夏場の扉開閉頻度が多いときは、特に背面が熱くなりますが異常ではありません。食品の貯蔵に影響ありません。



仕様/消費電力量について

仕様

形名	RF-U12FK1	
種類	冷凍庫	
有効内容積	117L	
外形寸法	幅460mm×奥行585mm×高さ1110mm	
定格電圧	100V	
定格周波数	50-60Hz共用	
電動機の	50Hz	101W
定格消費電力	60Hz	101W
電熱装置の	50Hz	130W(霜取り時)
定格消費電力	60Hz	130W(霜取り時)
質量	34kg	

部品	
ケース	7
蒸発皿	1

●霜取りは1日1～2回程度、1回の霜取りの時間は20～30分程度です。

消費電力量について

消費電力量

冷凍室ドア内側のラベルに表示してあります。

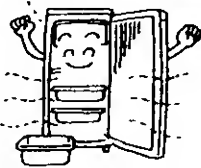
■RF-U12FK1の消費電力量は、日本工業規格(JIS C 9607)の消費電力量試験(B法)に準じてはありますが、庫内設定温度を-20℃以下の条件で、年平均1ヶ月当たりの消費電力量を目安として表示しております。実際には、据え付け場所の温度や湿度、扉の開閉頻度や新しく入れる食品の温度など使い方によって変化し、これより多い場合や、少ない場合があります。



こんなときには…

■長時間使わないときは

- カビが生えたり、においがこもったりしないよう、庫内を掃除し、2～3日ドアを開けて乾燥させてください。



■停電したときは

- ドアの開閉を、できるだけ少なくしてください。
- 新しい食品の貯蔵は、庫内の温度を高くするので、避けてください。



■塗装面に傷が付いたときは

放っておくと、さびが発生しますので、早めに処置してください。

《簡単な処置方法》

- 小さな傷は、シールをはる。
- 大きな傷は、防水性のある壁紙をはる。(さびは、紙やすりで落してから)

